

看護師特定行為研修 募集要項

令和6年度



磐田市立総合病院

I 研修概要

1 基本理念・目標

(1) 基本理念

磐田市立総合病院看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）は、病院の基本理念である「医療の原点は思いやり」のもと、地域の人々が高度で良質な医療を安心して受けられるよう、地域医療の質の向上を目指します。

(2) 目標

- ① 高度医療及び地域医療における多様な臨床場面において、病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける。
- ② 高度医療及び地域医療における多様な臨床場面において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基本的な能力を身につける。
- ③ 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける。
- ④ 自らの看護実践を見直し、標準化する能力を養う。

2 開講する特定行為区分と募集定員

当院では以下の区分の研修を実施します。

研修内容	開講する特定行為区分研修	総定員	定員
選択コース	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	2名	2名
※3区分以上選択すること。	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連		2名
	動脈血液ガス分析関連		2名
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		2名
	術後疼痛管理関連		2名
術中麻酔管理領域パッケージ	(1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 (2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸器からの離脱 (3) 動脈血液ガス分析関連 ・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保 (4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ・脱水症状に対する輸液による補正 (5) 術後疼痛管理関連 ・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整 (6) 循環動態に係る薬剤投与関連 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	2名	2名

※応募が定員を超えた場合は、選考試験の結果により選抜を行います。

3 研修期間

令和6年10月1日（火）から令和7年9月30日（火）までの12ヶ月

（履修免除の場合は令和7年4月1日（火）から令和7年9月30日（火）までの6ヶ月）

※ただし、実習において修了判定に必要な症例数に満たない場合、延長となる場合があります。

4 履修科目と時間数

(1) 共通科目

科目名	講義	演習	実習	評価	合計	評価方法
臨床病態生理学	29 時間	1 時間	—	1 時間	31 時間	筆記試験
臨床推論	26.5 時間	16 時間	1 時間	1.5 時間	45 時間	筆記試験 実習の観察評価
フィジカルアセスメント	17.5 時間	2 時間	17.5 時間	8 時間	45 時間	筆記試験
臨床薬理学	32.5 時間	11.5 時間	—	1 時間	45 時間	筆記試験
疾病・臨床病態概論	37 時間	3 時間	—	1 時間	41 時間	筆記試験
医療安全学・特定行為実践	24.5 時間	14 時間	4.25 時間	2.25 時間	45 時間	筆記試験 実習の観察評価
合計	167 時間	47.5 時間	22.75 時間	14.75 時間	252 時間	

※講義は学研 e ラーニング受講とする。

(2) 区分別科目

	特定行為区分	講義	演習	実習	評価	合計	評価方法
区 分 研 修	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8時間	—	5症例	1時間	9時間 + 5症例	筆記試験 実技試験 観察評価
	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	6時間	—	5症例	1時間	7時間 +5症 例	筆記試験 観察評価
	動脈血液ガス分析関連	11.5時間	—	5症例 2行為	1.5時間	13時間 +10症 例	筆記試験 実技試験 観察評価
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	12.5時間	2時間	5症例 2行為	1.5時間	16時間 +10症 例	筆記試験 観察評価
	術後疼痛管理関連	5.5時間	1.5時間	5症例	1時間	8時間 +5症例	筆記試験 観察評価
パ ツ ケ ー ジ 研 修	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	8時間	—	5症例	1時間	9時間 +5症例	筆記試験 実技試験 観察評価
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	12.5時間	3時間	5症例 2行為	1.5時間	17時間 +10症 例	筆記試験 観察評価
	動脈血液ガス分析関連	11.5時間	—	5症例 2行為	1.5時間	13時間 +10症 例	筆記試験 実技試験 観察評価
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9時間	1時間	5症例	1時間	11時間 +5症例	筆記試験 観察評価
	術後疼痛管理関連	5.5時間	1.5時間	5症例	1時間	8時間 +5症例	筆記試験 観察評価
	循環動態に係る薬剤投与関連	8.5時間	2時間	5症例	1.5時間	12時間 +5症例	筆記試験 観察評価

5 区分別実習について

実習場所

(1) 自施設（研修生の所属施設または関連施設）

研修修了後も特定行為実践が有効に行われるよう、継続した指導者の指導と安全に活動する施設基盤を実習中から構築するためにも、自施設での実習を推奨します。

(2) 磐田市立総合病院

自施設で実習環境の確保が困難な場合には、当院にて研修生と指導者がともに行動し、相談できる体制を整備した上で行います。

6 修了要件

本研修を修了するには、次の条件を満たす必要があります。

(1) 共通科目を全て履修し、筆記試験に合格すること。

(2) (1) を修了し、特定行為区分別科目を履修し、筆記試験、観察評価及び実技試験に合格すること。

※研修修了後は修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

7 履修科目の免除

(1) 指定研修機関が実施した特定行為研修において、共通科目の履修免除を受けようとする受講者は、申請時に成績証明及び当該特定行為研修の修了証を提出していただきます。

(2) 特定行為研修管理委員会において承認された後、共通科目の履修を免除となります。

8 受講スケジュール (1) 区分別科目

科目別・1年コース（共通科目6ヶ月＋区分別科目）
特定行為研修 スケジュール

表内の時間数は、それぞれのシラバスに記載された該当する研修の時間数を合計したものです

講義	個人によるe-ラーニングのため、期間は目安とする（週15時間程度）
演習	指定した期間に行う
実習	指定した期間に行う
OSCE	指定した期間に行う
評議（科目）試験	指定した期間に行う
予備期間	指定した期間内に終了できなかった場合、この期間で行う

月	週	週の目安	臨床病態生理学 (31)	臨床薬理 (45)	フィジカルアセスメント (45)	臨床薬理学 (45)	疾病・臨床病態観 (41)	医療安全学/特定行為実践 (45)	呼吸器（気道挿管に係るもの）開講(9+5症例)	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）開講	動脈血ガス分析開講(13+各5症例)	栄養及び水分管理に係る薬剤投与開講(16+各5症例)	術後疼痛管理開講 (8+5症例)	
10月	第1週	10月3日～	オリエンテーション											
	第2週	10月7日～												
	第3週		29h											
	第4週		1h											
11月	第5週		1h	26.5h										
	第6週													
	第7週			16h										
12月	第8週			1.5h										
	第9週			1.5h	17.5h									
	第10週				8.5h									
1月	第11週				18h									
	第12週													
	第13週				8h									
2月	第14週					32.5h								
	第15週													
	第16週				11.5h									
3月	第17週				1h		30h							
	第18週							7h						
	第19週							3h						
4月	第20週													
	第21週													
	第22週							24.5h						
5月	第23週													
	第24週							14h						
	第25週							4.25h						
6月	第26週							2.25h						
	第27週													
	第28週								8h	6h				
7月	第29週											12.5h		
	第30週										11.5h			
	第31週											2h		
8月	第32週											5症例×2	5.5h	
	第33週											・持続点	1.5h	
	第34週											・挿入の前後		
9月	第35週											カテーテルの投与量の調整		
	第36週											・脱水症候に対する補正		
	第37週											・投与量の調整		
10月	第38週											・投与量の調整		
	第39週											・投与量の調整		
	第40週											・投与量の調整		
11月	第41週											・投与量の調整		
	第42週											・投与量の調整		
	第43週											・投与量の調整		
12月	第44週											・投与量の調整		
	第45週											・投与量の調整		
	第46週											・投与量の調整		
1月	第47週											・投与量の調整		
	第48週											・投与量の調整		
	第49週											・投与量の調整		
2月	第50週								1h	1h	1.5h	1.5h	1h	
	第51週													
	第52週													

(2) 術中麻酔管理パッケージ

科目別・1年コース（共通科目6ヶ月＋術中麻酔管理パッケージ6ヶ月）

特定行為研修 スケジュール

講義	個人によるe-ラーニングのため、期間は目安とする（週15時間程度）
実習	指定した期間に行う
実習	指定した期間に行う
OSCE	指定した期間に行う
演習・(科目) 演習	指定した期間に行う
	予備期間(指定した期間内に終了できなかった場合、この期間で行う)

月	週	週の段	臨床演習 理学(31)	臨床検診 (45)	フィジカル アセスメント(45)	臨床薬理学 (45)	疾病・臨床 演習(41)	医療安全学/ 特定行為実 習(45)	研修(基礎 確保に係るも の) 演習(9+3 回)	研修(人土 研修標準に基 づく) 演習 (17+各5回)	数値血液力 学分析(13+各5回 演)	基礎的/水分 管理に係る実 習(11+5回)	術後管理 研修(8+5 回)	看護学に 係る基礎 研修 (12+5回)		
10月	第1週	10月3日～	オリエンテーション													
	第2週	10月7日～	29h													
	第3週		1h													
	第4週		1h													
	第5週		1h	26.5h												
11月	第6週			16h												
	第7週			2h												
	第8週			1.5h	17.5h											
12月	第9週				2h											
	第10週				17.5h											
	第11週				8h											
	第12週				32.5h											
1月	第13週				11.5h											
	第14週				3h	30h										
	第15週															
2月	第16週						7h									
	第17週						2h									
	第18週						1h	24.5h								
3月	第19週							14h								
	第20週							4.25h								
	第21週							2.25h								
	第22週															
4月	第23週							8h								
	第24週								12.5h							
	第25週									11.5h						
	第26週										5h					
5月	第27週											5.5h	8.5h			
	第28週								3h			1h	1.5h	2h		
	第29週															
	第30週															
6月	第31週															
	第32週								特定行為 研修							
	第33週								OSCE							
	第34週									特定行為 研修						
7月	第35週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第36週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第37週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第38週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
8月	第39週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第40週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第41週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第42週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
9月	第43週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第44週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第45週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第46週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
9月	第47週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第48週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第49週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
9月	第50週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
	第51週								25回	25回	25回	25回	25回	25回		
9月	第52週							25回	25回	25回	25回	25回	25回			

Ⅱ 募集要項

1 応募資格

出願するにあたり、次の各号を全て満たすこと。

- (1) 日本国の看護師免許を有すること。
- (2) 看護師免許取得後、5年以上看護師の実務経験がある者。
- (3) 勤務している場合、所属長(看護部長又は同等職位の所属長)の推薦を有すること。

2 選考方法

- (1) 書類選考
- (2) 小論文
- (3) 面接試験

3 出願書類

- (1) 看護師特定行為研修受講願書(様式1)
 - (2) 推薦書(様式2)
 - (3) 履歴書(様式3)
 - (4) 看護師免許(A4サイズ写し1部)
 - (5) 履修免除願(様式4)並びに「修了証」の写し及び「成績証明」の写し※該当者のみ
- ※上記の提出書類(1)～(5)は返却しません。

4 受講審査料納付方法

受講審査料は当院の指定する口座にお振込みください。なお、振り込み後振込用紙の写しを上記出願書類中の「看護師特定行為研修受講願書(様式1)」に添付のうえご提出ください。

- ① 受講審査料 20,000 円
- ② 審査振込先

銀行名	浜松磐田信用金庫	磐田本店営業部	普通口座
口座名義	いわたしびょういんじぎょうかいけいかりうけくち	くりた	けいこ
	磐田市病院事業会計借受口	栗田	恵子
口座番号	5023121		

※振込は、受験者本人のお名前でお振込下さい。

※振込手数料はご本人様の負担とさせていただきます。

5 応募方法

磐田市立総合病院のホームページ「磐田市立総合病院看護師特定行為研修」より必要書類を以下の URL からダウンロードしてください。

URL : <https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>

6 書類提出

前述の「3 出願書類」を以下の担当宛に郵便書留で郵送してください。

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512-3

磐田市立総合病院 看護師特定行為研修係 宛

問合せ先：TEL 0538-38-5000

7 書類提出期間

令和6年6月20日（木）から令和6年7月22日（月）まで

令和6年7月22日（月）必着

8 選考試験

小論文及び面接 令和6年8月20日（火）

※小論文は事前提出していただく場合があります。

試験会場は当院になります。

出願書類及び審査料の受理後、詳細をご連絡します。

9 選考結果

令和6年9月上旬に、事務局より可否を書面にて通知します。

10 入講手続き

可否通知の際に、詳細をご案内します。

入講までに個人で賠償責任保険に加入し、加入したことが確認できる書類を提出してください。

合格者は、次項に定める入学金及び受講料を通知文に記載してある期日までにお手続きください。なお、10月3日（木）に開講式を執り行う予定です。

11 受講料

(1) 共通科目

科目名称	費用（消費税込）
臨床病態生理学	380,000 円
臨床推論	
フィジカルアセスメント	
臨床薬理学	
疾病・臨床病態概論	
医療安全学・特定行為実践	

※再試験料、再実習料は別途、1回もしくは1日3,000円申し受けます。

(2) 区分研修

科目名称	費用（消費税込）
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	39,000円
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	32,000円
動脈血液ガス分析関連	45,000円
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	45,000円
術後疼痛管理関連	37,000円

(3) 術中麻酔管理領域パッケージ

科目名称	費用（消費税込）
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	250,000円
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	
動脈血液ガス分析関連	
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	
術後疼痛管理関連	
循環動態に係る薬剤投与関連	

※再試験料、再実習料は別途、1回もしくは1日3,000円申し受けます。一旦納めた受講料は原則として返金いたしません。再試験・追試験受講料や受講期間内に修了認定が受けられない場合等は、追加受講料が発生いたします。

※受講料には、演習・実習費、施設使用料を含みます。

※教科書等の教材が別途必要となる場合がございます。（自己購入）

※一度支払った受講料は、原則として返還しません。

※研修のための交通費等は実費負担です。